



子育てにおもちゃ役立てて

春日井市の不動産業「アイカ産業」と大垣共立銀行は四日、子育て支援に役立ててもらおうと、市にままごと用の遊具やぬいぐるみなど、おもちゃ一式を寄贈した。

同行の寄贈サービス付き私募債「拍手喝債」の仕組みを活用。同行が引受手数料の一部で約二十万円相当のおもちゃを購入し、発行したアイカ産業が寄贈先を決めた。おもちゃは、同市八田町二の上八田保育園内

春日井市に寄贈 アイカ産業と大垣共立銀行

にある市子育て支援センターで活用される。

市役所で贈呈式があり、同行春日井支店の大竹昭彦支店長（五）から目録を受け取った伊藤太市長は「子ども元気はみんなの元気につながる。有効に活用させていただきます」とお礼を述べた。アイカ産業の相崎孝幸代表（五）は「地元の企業として、子育て世代に選ばれる春日井市となるよう協力していきたい」と話した。

（小林大晃）